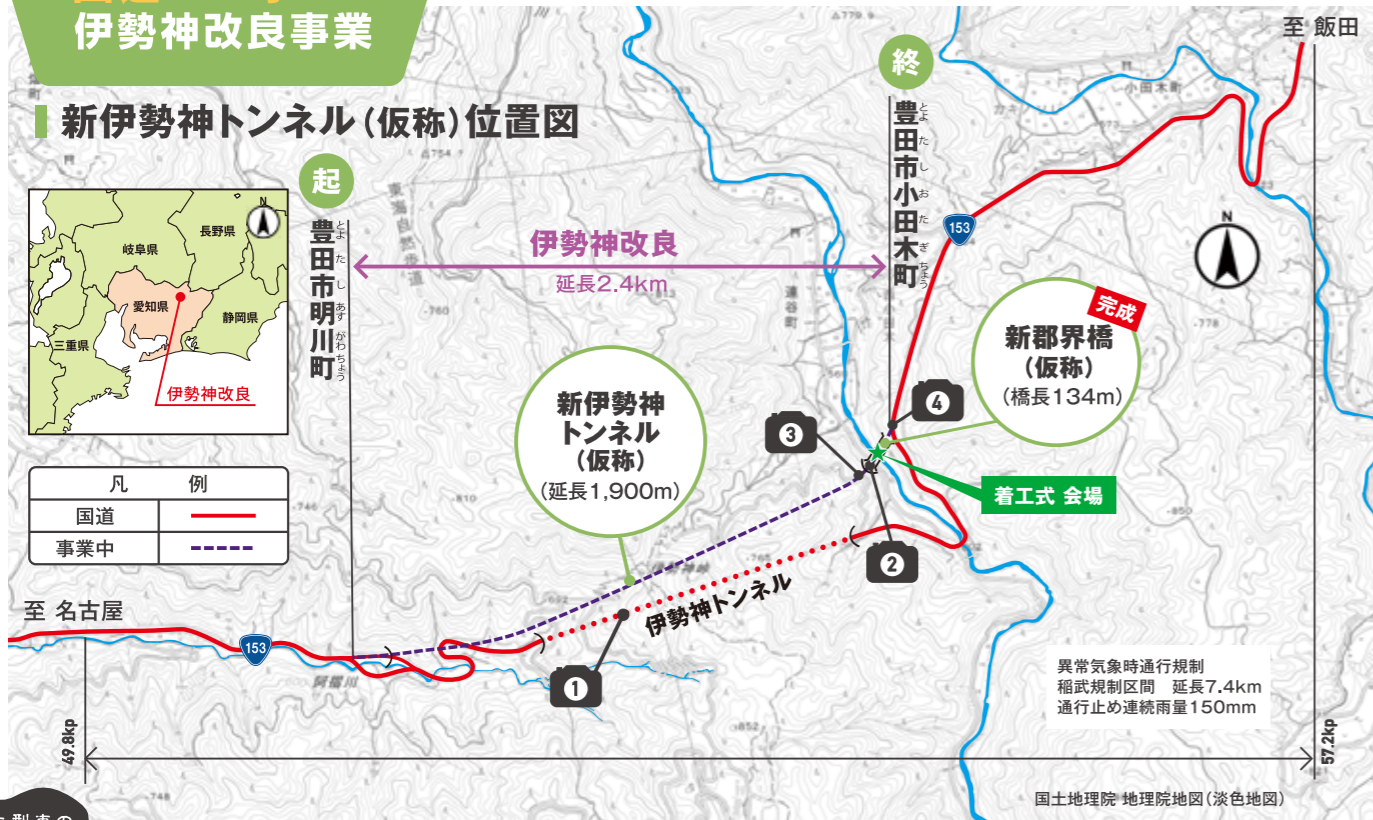


新伊勢神トンネル(仮称)位置図



大型車の
すれ違いが
困難



現在の伊勢神トンネル



トンネル坑口(飯田側)



落石対策 施工済み



新郡界橋(仮称) 施工済み

計画の概要

- 事業名:一般国道153号伊勢神改良
- 起終点:(起)豊田市明川町
(終)豊田市小田木町
- 事業化:平成24年度
- 延長:2.4km
- 道路規格:3種2級
- 車線数:2車線
- 設計速度:60km/h

事業の経緯

- 明治30年 伊世賀美隧道完成
- 昭和35年 伊勢神トンネル開通
- 平成24年 伊勢神改良事業化
- 平成25年2月16日 中心杭打ち式
- 平成27年6月14日 安全祈願祭
- 令和3年3月 新郡界橋(仮称)竣工
- 令和4年5月28日 新伊勢神トンネル(仮称)着工式



中心杭打ち式

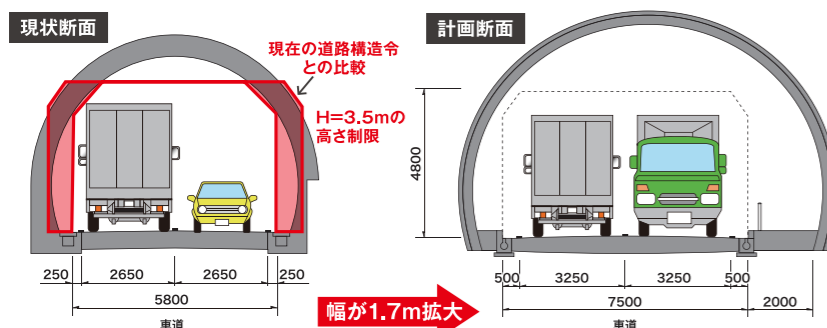


安全祈願祭

事業の目的・効果

①トンネル断面不足の解消

・伊勢神トンネルは、昭和35年に建設され旧道路構造令に準拠しているため内空断面が不足



②線形不良箇所の回避

・伊勢神トンネル前後区間には、急カーブ、急勾配などの線形不良区間が存在
・無理な追い越しによる正面衝突事故や、車線逸脱による接触・工作物衝突、転倒等の事故発生

③信頼性の向上

・伊勢神トンネル前後区間は、異常気象時通行規制区間に指定
・恵那山トンネルが危険物積載車両通行禁止のため名古屋から長野方面に危険物積載車両が安全に通行可能な運搬路の確保



雨量規制の状況

伊勢神
いせがみ 改良

国道153号
新伊勢神トンネル(仮称)
着工式

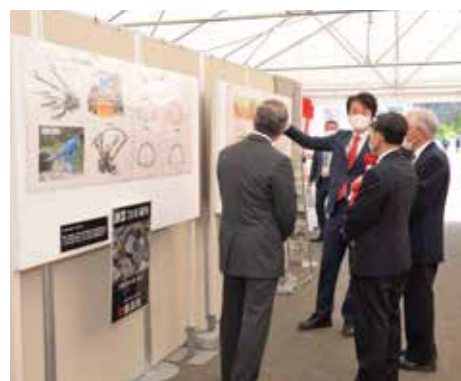
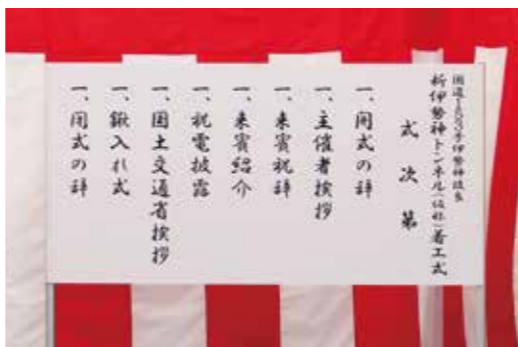


令和4年5月28日(土) 豊田市連谷町(トンネル終点側坑口)



主催: 国道153号伊勢神改良 新伊勢神トンネル(仮称)着工式実行委員会

新伊勢神トンネル(仮称)着工式



主催者ごあいさつ



国道153号伊勢神改良
新伊勢神トンネル(仮称)着工式
実行委員会 代表
豊田市長 **太田 稔彦氏**

伊勢神改良事業は、私が市長に就任して間もない平成24年3月に要望を行い、翌年2月に中心杭打ち式を開催後、事業に着手致しました。本日、10年の年月を経て着工式を迎えることができました。

国道153号は、都市と山村を繋ぎ地域間交流の促進を担う重要な路線であり、そして命の道でもあります。令和4年11月にFIA世界ラリー選手権が稲武地区を含めた山村地域の公道を舞台に開催されます。ラリー選手権の開催は、山村地域の魅力を発信する大きな契機であり、令和4年7月にリニューアルオープンする道の駅「どんぐりの里いなぶ」や各地でのイベント開催など、ラリーを生かした魅力的なまちづくりにも取り組んでまいります。

これらを進めるうえで、伊勢神改良は大変意義深い事業と捉えており、早期供用の実現を期待しております。事業推進に多大なご支援・ご協力をいただいた皆様方の益々のご理解とご協力をお願い致します。

事業者ごあいさつ



国土交通省
中部地方整備局道路部長
大儀 健一氏

新伊勢神トンネル(仮称)の着工式を無事に迎えられましたのも、ご協力いただいた地域の皆様、八木衆議院議員、今枝衆議院議員、太田豊田市長、県議会議員・市議会議員の皆様、商工会議所を中心とする経済界の皆様など多くの方々のご支援・ご協力のたまものと心から感謝を申し上げます。

国道153号は、稲武地区、足助地区をはじめとする豊田市の皆様の生活を支える主要な幹線道路であり、中央自動車道の恵那山トンネルが危険物積載車両通行禁止であることから迂回路としても利用され、広域的にも大変重要な路線です。地域からは災害に強く安全な道路ネットワークの整備に高い期待が寄せられていると承知をしております。

国土交通省中部地方整備局としましても、工事を安全かつ着実に進め、国道153号伊勢神改良の一日も早い完成を目指し、関係機関と連携・協力しながら事業を推進してまいりますので、皆様方の変わらぬご支援・ご協力をお願い致します。

来賓祝辞



衆議院議員
八木 哲也氏

本日、新伊勢神トンネル(仮称)の着工式が開催されましたことに心から感謝を申し上げます。

江戸から明治の頃は、中馬街道そして伊勢神峠を通して信州からこの地に人々が入って来られたようですが、不自由さから明治30年に伊世賀美隧道が造られました。これで往來がスムーズになると喜ばれたものの、自動車の発展等により、トンネルが小さいとの声

が挙がり、昭和35年に新たな伊勢神トンネルが完成しました。そして今回の改良です。これが竣工することで、100年、いやもっと先まで見通せるトンネルになるのではないかと考えております。

トンネルが開通してもまだまだ雨量規制という大きな課題もあり、もっと安心できる道路にしていかなければなりません。今回の工事を起点に、産業活性化、地域活性化がなされ、ふるさとをつなぐ命の道として新たな時代につながることを祈念しております。

来賓祝辞



愛知県議会議員
樹神 義和氏

新トンネルの着工式が盛大に開催されましたこと、お祝い申し上げます。

平成25年2月に足助交流館で伊勢神改良の中心杭打ち式が執り行われ、私も参加させていただきましたが、あれから9年、今日に至るまで本事業に携わってこられた多くの皆様に敬意と感謝を申し上げます。

本事業は費用対効果からすると着工が難しいものですが、市町村合併に伴う都市と農山村との交流、大規模自然災害に際しての命の道といった地域の皆様の声が事業化に結びついたと思います。

さらにこのトンネルの意義は豊田市内に限らないと考えています。国道153号は、中央自動車道の恵那山トンネルが危険物積載車両通行禁止であることから信州地域と愛知県を結ぶ物流の要になっております。またリニア中央新幹線の飯田駅が予定されており、益々この地域と南信州との交流が深まり、産業の起爆剤になり得ると思っております。本事業の早期完成と無事故・無災害を心より祈念申し上げます。



衆議院議員
今枝 宗一郎氏

稲武の皆さんにとって新伊勢神トンネルは本当に悲願であります。ここから新たな一歩が進められるのだと、皆様と喜びをかみしめているところです。

稲武は、デジタル田園都市国家構想の先鞭をつける地域です。地方創生のための交流人口の増加、観光推進といった意味でも、稲武地域は大きな一歩を踏み出しています。人が交流できなければ本当の意味での中山間地の

成長・発展はあり得ません。交流の要となる新伊勢神トンネルが一日も早く全線開通することで、地方創生の真の一歩を踏み出せると考えております。またリニア中央新幹線の飯田駅も計画され、広域的な連携の重要性も増しております。新伊勢神トンネルが果たす役割は非常に大きいことを思い、中山間地の新しい形を皆様と一緒に考えていきたいと考えています。



豊田市議会議員
板垣 清志氏

多くの地権者の皆様の御理解と御協力をいただき、本日ここに、新伊勢神トンネル(仮称)着工式が執り行われますこと、心より感謝申し上げます。また、本事業にお力添えをいただきました国会議員、県議会議員の諸先生方、本当にありがとうございました。そして何より、地域の声を行政や国県議員の先生方に届けるため、見えないところで一生懸命汗をかかれた地元市議会議員の稲武地区の三江議員、足助地区の鈴木章議員、大変お疲れ様でございました。

事業者である中部地方整備局を始め関係者の皆様の熱意により、地域の課題解決に繋がる本事業が着実に進められています。この新しいトンネルは、都市と山村を繋ぐ大事なものであり、早期の開通を望むところでありますが、業者の皆様方には安全第一に、そして地域の皆様方としっかりとコミュニケーションを取りながら工事を進めていただきますようお願いいたします。



着工式会場



トンネル終点側坑口